

文化・芸術

「ジュラ風景（ケルビーノ・パタの協力による制作）」

1875～77年ごろ、油彩、カンバス
50・5センチ×61・5センチ

ギユスターブ・クールベ

（1819～77年）

ギユスターブ・クールベは、19世紀フランスの写実主義の旗手として知られる画家です。それまでの絵画において一般的だった理想化された神話画や歴史画ではなく、「生きた芸術」を追求し、自身の目に映る自然や身の回りの人々、野生動物たちの姿をあるがままに描き、印象派以降の近代絵画に大きな影響をもたらしました。

本作はスイスに亡命していた晩年、助手のケルビーノ・パタの協力を得て制作された風景画です。この時期、クールベはフランスとの国境近く、雄大な自然に抱かれたスイスのジュラ地方の風景を好んで描きました。本作でも、生命力あふれる豊かな森とそこにたえず暮らす素朴な家を荒々しい筆触によって捉え、辺りに降り注ぐ明るい陽光を明暗のコントラストを強調して描き出しています。

この作品は、7月18日からのコレクション展でご覧いただけます。

（佐藤）



《名画の扉》

大川美術館コレクション展から